

令和04年度日進市事務事業評価シート

大事業名		6次産業化推進事業		コード		04200400-0401	
中事業名		6次産業化推進事業		計画区分		①	
担当部等		産業政策部		担当課等		農政課	
総合計画		コード	名 称	予算科目		コード	名 称
	基本目標	04	産業の魅力を高める		会計	1	一般会計
	基本施策	20	農業の振興		款	06	農林水産業費
	主要施策	04	地域特性に合った農産物の生産		項	01	農業費
					目	03	農業振興費
					大	04	6次産業化推進事業
					中	01	6次産業化推進事業
	根拠法令・条例等						
基本計画等		日進市6次産業化推進戦略					

1 事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	本市の特性を活かした新たな農産物や6次産業化の方向性を調査・研究するとともに、農産物の栽培、加工施設等の相談や補助金等6次産業化に取り組む意欲のある農業者等を支援する。また、担い手不足や高齢化が進む農業分野と就労先の不足や工賃・賃金の低さ等が課題になっている福祉分野の連携や、2次、3次産業の技術、ノウハウを持っている商工業者や大学等市内のあらゆる資源のマッチングを図り、6次産業化の可能性を探り、支援をする。
対象	6次産業化に取り組む市民（個人、法人、団体等）
意図（目的）	6次産業化を推進し、農業収益の向上を図ることで、多くの担い手による活気ある持続可能な農業を展開する。
手段	6次産業化支援事業補助金の交付、産業まつり等による6次産業のPR

2 実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額	R4決算額	R5予算額
			0	0	350	350	350	277	350
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		0	0	350	350	350	277	350
人件費	正規職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.20 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		1,296.00	0.00
	会計年度任用職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.00 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		0.00	0.00
総事業費（千円）				0		350		1,573	0

令和04年度日進市事務事業評価シート

○令和 4年度に記載した具体的な改善内容

令和 4年度に 実施する具体的な 改善内容	
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容	
令和 4年度に 取り組んだこと	農業者、大学、飲食店、NPO等をマッチングし、本市の特性に合った農産物（サツマイモ、もち米）を使った新たな6次産業化商品を、6次産業化支援事業補助金を活用して、開発、販売まで支援をした。
成果	6次産業化支援事業補助金を活用し、3件の事業について支援を行うことができた。新たに4商品が開発、イベント等で販売された。また、広報紙等により新商品の周知を行った。
課題	ふるさと納税返礼品への登録を進める。さらに魅力的で売上が見込める商品を開発する。本市のお土産として認知される商品を開発する。商品開発とともに、販路開拓もネットワークを活用しなければならない。

3 事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	
評価の理由	6次産業化支援事業補助金を活用して、本市の農産物を使った、新たな魅力的な6次産業化商品が複数開発された。			

4 今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 5年度に 実施する具体的な 改善内容		6次産業化商品の販売実績がより高い事業者と連携して、より魅力的な商品の開発、販売量の増加による、農産物の生産量及び売上の増大を図る。			
今後の 方向性	成果	●拡充	○維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容		農業者、福祉事業所、大学、商業者等とさらに連携を強化し、より魅力的な取組による新商品開発、販路開拓など6次産業化事業を推進し、より有効に6次産業化支援事業補助金を活用する。また、イベント等で6次産業化商品の試食・販売などを行い、広くPRするとともに、商品及び農産物の売上向上を図る。			

【アウトプット指標】

指標名	補助金交付件数					単位	件
指標データ	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
					3.00	3.00	3.00

【アウトカム指標】

指標名	6次産業の商品化件数					単位	件
指標データ	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
					3.00	4.00	3.00
式	補助金交付件数における、商品化がされた件数						
指標の狙い	補助金を活用して、新たな6次産業化商品が開発されることで、農業の活性化、収益の向上につながり、ひいては本市の新たな特産品・観光資源となることで、本市の活性化につながる。						